第25回 Working Party 5A会合　報告書（案）

1 WP 5A

WP 5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務（FWA : Fixed Wireless Access）、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会合の概要

WP 5A第25回会合は、2021年4月28日（水）から5月11日（火）までの10日間（土曜・日曜は会議なし）、Web会議にて開催された。55の加盟国、18のROA、23のSIO等から438名が参加した。

議長はJose Costa（カナダ）が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG（Working Group）と1つのAd Hoc WGを設置し、検討が行われた。

137件の入力文書、前回会合からの41件の持越し文書及び会合中に到達した7件の文書を扱い、会合での検討の結果、57件のTEMP文書を出力した。

表1　WP 5Aの審議体制

	担務内容	議　長
WP 5A		Jose Costa (カナダ)
WG 1	Amateur services	Dale Hughes (オーストラリア)
WG 2	Systems and standards	Lang Baozhen (中国)
SWG 5A-2-1	Railways	Yan YANG (中国)
WG 3	PPDR	Amy Sanders (米国)
WG 4	Interference and sharing	Michael Kraemer (ドイツ)
SWG5A-4-1	WRC-23 agenda item 1.3	Cesar GUTIERREZ (Huawei)
DG5A-4-2	WRC-23 agenda item 1.5	Michael Kraemer (ドイツ)
WG 5	New technologies	吉野　仁 (日本)
SWG 5A-5-1	ITS	小山　敏 (日本)
Ad Hoc WG 5A/5C	WRC-23 agenda item 9.1 c)	Jose Costa (カナダ) Pietro NAVA (イタリア)

2 主要結果

2.1 WG 1（アマチュア及びアマチュア衛星業務）

(1) 前回会合からキャリーフォワードされた PDNR M.[AMATEUR_CHARACTERISTICS]に向けての作業文書に関連して 2 件の入力文書 Doc. 276（IARU）及び Doc. 293（カナダ）を審議し、文書を改訂した。また、文書のステータスを作業文書から PDNR に格上げして、次回会合にキャリーフォワードした。

(2) WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する WP 5A の作業進捗を報告するリエゾン文書を作成し、WP 5A プレナリでの承認を経て WP 4C 及び WP 3M に送付した。

(3) ITU-R 勧告 M.1732 の改訂が入力文書 Doc. 277（IARU）で提案され、改訂作業の結果を、暫定改訂案として次回会合にキャリーフォワードした。

(4) WRC-23 議題 9.1 トピック a)の検討のためにアマチュア及びアマチュア衛星業務に関する勧告を WP 7C に通知するリエゾン文書案を入力文書 Doc. 278（IARU）に基づいて作成し、WG 4 に送付した。

2.2 WG 2（システムと標準）

(1) RSTT に関して、5 つの文書が審議された。Work Plan 及び ITU-R 新研究課題[RSTT]の作成作業が完了し、新研究課題については、SG 5 に上程されることとなった。周波数調和に関する ITU-R 新勧告草案 M.[RSTT_FRQ]、ITU-R 報告 M.2442 改訂草案、各地域組織へのリエゾンの作業文書については、次回会合における継続審議となった。

(2) RLAN 及び BWA の標準に関して、勧告 ITU-R M.1450、勧告 ITU-R M.1801 の修正に向けた作業文書・ワークプランが作成された。また、外部組織への照会のリエゾン文書が作成・合意された。

(3) UCS（公共通信システム）に関して、ITU-R 新報告草案 M.[UCS]「公共通信システム」に向けた作用文書を作成した。

(4) ITU-R 勧告 M.2134「共用及び両立性検討での使用のための 27.5-29.5 GHz 帯の移動業務のシステムの受信機の特性及び保護基準」の改訂の提案に関して、この帯域の陸上移動業務で現在採用されている決定論的な干渉保護基準の方法を時間率として規定する統計論的な方法に変更する問題について、決定論的アプローチを用いる他の地上無線通信業務に影響を与える可能性があるため、合意に至らなかった。

2.3 WG 3（PPDR）

(1) 期間中 2 回の会合を開き、6 件の入力文書と、1 件のキャリーフォワードした文書を検討した。

(2) コンペンディアム（抄録）に関する検討を行い、US の提案に従い、Suppression による Web による情報提供への切り替え方向性について合意し、関係組織へのリエゾンを作成した。

(3) 他リエゾン文書に対して、2 件を情報として了知し、2 件については返信用のリエゾンを作成した。

2.4 WG 4（干渉と共用）

(1) 前会期から持ち越しとなっていた文書（GEO SHARE 関連, WRC-19 議題 1.16 の RLAN 関連）について、議論を停止し、文書の持ち越しをしないことで合意した。

(2) WRC-23 議題 1.3 について、準備作業を継続した。WRC-23 に関連する共用検討及び他の共用検討に関し、技術特性及び他の関連情報を、9 件のリエゾンで様々な WP に提供した。

(3) WRC-23 議題 1.5 について、470-960 MHz 帯の陸上移動業務の周波数の使用及び周波数の需要に関する情報をリエゾンで TG 6/1 に提出することに合意した。470-960 MHz 帯の陸上移動業務に関連するパラメータと検討の材料をリエゾンに含めることには、長時間の議論の結果、合意されなかった

2.5 WG 5（新技術）

(1) ITU-R 新報告草案 M.[CAV]に向けた作業文書の作成を継続した。

(2) ITU-R 勧告 M.2121 及び報告 M.2444 の改訂草案に向けての作業文書の作成を開始した。

(3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務アプリケーションの技術的及び運用特性に関する ITU-R 勧告 M.2417 の改訂に向けた作業文書の作成を継続した。

2.6 Ad Hoc WG 5A/5C（WRC-23 議題 9.1 c)）

(1) WRC-23 議題 9.1 c)「決議第 175 に従った固定業務に一次分配された周波数帯で固定無線ブロードバンドのための IMT の使用の検討」に関する作業について、Ad Hoc WG 5A/5C で実施された。既存の勧告の更新提案、新勧告又は報告案の作成提案を議論したが、時間の不足のため合意に至らず、全ての入力寄与文書は、次回会合に持ち越された。

(2) コレスポンデンスグループを創設し、第 25 回会合と第 26 回会合の間に、作業を進めることとなった。

3 プレナリ会合における主要議論

3.1 オープニング・プレナリ会合

【入力文書】

Report of the twenty-forth meeting of WP 5A	5A/221
Objectives for the twenty-fifth meeting of Working Party 5A	Section 4 of 5A/221
Structure of WP 5A and list of contacts	Sections 2.2 and 4 in Annex 1 to 5A/221
Results of the Study Group 5 meeting, 23 November 2020	5/34
Summary of the 17th CVC meeting, 20 January 2021	CVC/4
CPM-23 Steering Committee activities	Corrigendum 1 to Addendum 1 of CA/251
Summary of conclusions of the 28th RAG meeting, 29 March – 1 April 2021	CA/256
Revision of WP 5A texts	Section 1 of Annex 1 to 5A/221
Work programme for the meeting	5A/ADM/13 and 5A/ADM/14
Working methods	WP 5A share folder
Consideration of input documents	5A/241
Administrative matters	Annex 1 to 5A/221
Reports from the Liaison Rapporteurs	5A/275 (Disaster Relief L.R.); 337 (L.R. #1); 346 (L.R. #2))

【出力文書】

―	―

【出席者】

José COSTA 議長（カナダ）

【審議概要】

・イランから、WP 5A が責任又は寄与グループである WRC-23 議題で検討される周波数帯の全ての現行の業務に関し、MIFR に登録された周波数割当や、登録処理中の周波数割当の特性の抜粋を提供するよう、公式に要請があった。これを受けて、BR で、会合期間中に、作業を進めることとなった。

・前回 WP 5A 第 24 回会合の議長報告について、採択された。

・今会合における WP 5A の構成について、5A/221 の第 2.2 節のとおり採択された。（その後、5A/359 の Annex 1 となった。）

・議長から、WP 5A に関係する ITU 会合の結果について、報告があった。

・2020 年 11 月 23 日の SG 5 会合の要約の記録は、文書 5/34 で、WP 5A から SG 5 への報告は文書 5/28 であること。2021 年 1 月 20 日の CVC 第 17 回会合の要約は、文書 CVC/4 であり、効果的な電子会議のための局長からの有

用なガイダンスがあること。CPM-23 の運営委員会が、文書 CA/251 の付録の誤植を発行し、修正は、文書 5A/359 の Annex 1 に反映済みであること。

・議長から、文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節に掲載されている文章、すなわち「陸上移動業務に関連する ITU-R 文章の使用のガイド」及び「アマチュア及びアマチュア衛星業務に関連する ITU-R 文章の使用のガイド」に関し、注意喚起が行われた。

・WP 5A 会合の作業計画について、文書 5A/ADM/13 (Rev.1)のとおり採択された。

・WRC-23 議題 9.1 c)に関する作業について、WP 5C 議長との協議により、Ad Hoc WG 5A/5C に割り振られた。また、想定される出力が議長報告に添付されるため、WP 5A と 5C の合同プレナリは必要とされなかった。

・当初のスケジュールは、文書 5A/ADM/14 のとおり採択された。また、会合の進捗に応じて、スケジュールが調整された。

・SG 5 カウンセラーから、WP 5A/5C 会合中のオフラインでの電子メールでの議論の作業方法の案について、紹介された。オフラインでの電子メールでの活動の詳細については、WP 5A のシェアポイントで参照される。

・WP によるリエゾン文書の承認に関し、RAG がすでにガイダンスを提供しているため、文書 5A/241 はノートされた。

・議長から、文書 5A/221 の Annex 1 の第 4 節にある連絡先一覧を見直し、変更が必要な場合には知らせるよう、依頼があった。本一覧表は、外部機関へのリエゾンのために使用されるもので、電子メールの配付一覧は、そこから自動的に生成されることが述べられた。

・議長から、ITU-R 勧告の様式及び ITU の英語の様式の基準（スタイルガイド）を含む、WP 5A の文章の準備のガイドラインが、Annex 1 の第 2.3 節にあるとの指摘があった。

・三つのリエゾン・ラポータからの報告が紹介された。災害救援に関しては、文書 5A/275 でサンダース氏から、第一地域の特定の国に関しては、文書 5A/337 でオーウェン氏から、第二地域の特定の国に関しては、文書 5A/346 でシバリング氏から、それぞれ行われた。

・議長から、貴重な情報に対してリエゾン・ラポータへの謝辞があり、時間の不足のため、質問がある場合には、直接リエゾン・ラポータに電子メールを送付するよう、求めがあった。

3.2 中間プレナリ会合

【入力文書】

－	－

【出力文書】

WG 1 Amateur services	－
WG 2 Systems and standards	5A/TEMP/103
WG 3 PPDR	5A/TEMP/94R1, 95, 99R1

WG 4 Interference & sharing WG 5 New technologies Ad Hoc WG 5A/5C	5A/TEMP/108R1, 112R1, 118R1 5A/TEMP/97R1, 98R1 ―

【出席者】
議長： José COSTA (カナダ)
【審議概要】
- 各WG等からの出力文書について

（1） WG 1. amateur services
・出力文書なし。

（2） WG 2. system and standards
【TEMP 5A/103】
・ITU-T SG 11 へのリエゾンであり、特に質疑なく承認された。

（3） WG 3. PPDR
【TEMP 5A/99 R1】
・コンペンディア（概要）の削除を関係グループにリエゾンするものであり、特に質疑なく承認された。

【TEMP 5A/95】
・災害救援のユースケースに関する ITU-T SG 11 への返信であり、特に質疑なく承認された。

【TEMP 5A/94 R1】
・自然災害の管理のための人工知能（AI）に関する ITU-T の FG（フォーカスグループ）への返信リエゾンであり、特に質疑なく承認された。

（4） WG 4. Interference & sharing
【TEMP 5A/108 R1】
・WP 7C からの議題 9.1 a)に関する作業に関する情報の要請に対する返信であり、米国から MIFR の情報に関し、何が提供されるかの洞察がないままこの文書を承認することに懸念がある旨の意見があり、議長やイラン、SG 5 カウンセラー、WG 4 議長からの発言の後、文書を再検討して、クロージング・プレナリで扱うこととなった。

【TEMP 5A/112 R1】
・WP 5C へのリエゾンであり、特に質疑なく承認された。

【TEMP 5A/118 R1】
・WP 7C へのリエゾンであり、特に質疑なく承認された。

（5） WG 5. New technologies
【TEMP 5A/97 R1】
・承認された。

【TEMP 5A/98 R1】
・承認された。

【TEMP 5A/93】
・議長報告への添付が了知された。

【TEMP 5A/96 R1】
・WG 5 議長報告への添付が了知された。

【TEMP 5A/100 R1】
・議長報告への添付が了知された。

【TEMP 5A/101 R1】
・議長報告への添付が了知された。

【TEMP 5A/106 R1】
・議長報告への添付が了知された。

【TEMP 5A/122 R1】
・議長報告への添付が了知された。

（6） Ad Hoc WG 5A/5C
・出力文書なし。

3.3 クロージング・プレナリ会合

【入力文書】

ー	ー

【出力文書】

WG 1 Amateur services	5A/TEMP/126R1
WG 2 Systems and standards	5A/TEMP/107R1, 132R1, 135R1
WG 3 PPDR	ー
WG 4 Interference & sharing	5A/TEMP/108R1, 109R1, 116R1, 128R1, 129R1, 130R1, 138R2, 139R1, 140R1, 141R1
WG 5 New technologies	ー
Ad Hoc WG 5A/5C	5A/TEMP/146R1

【出席者】
議長： José COSTA (カナダ)
【審議概要】
• 各WG等からの出力文書について
（1） WG 1. amateur services
【TEMP/126 R1】
・5A/TEMP/126R1（WP 4C 及び WP 3M への WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する WP 5A の作業進捗報告リエゾン文書）は修正なく承認された。

（2） WG 2. system and standards
【TEMP/107 R1】
・RSTT に関する新研究課題について、プレナリの場で行われたいくつかの修

正に関し、中国から WG または SWG レベルで議論を継続すべきではないかと懸念が表明されたが、最終的には、他の多くの国や組織の支持により、SG 5 へ上程されることとなった。

【TEMP/132 R1】

・ITU-R 勧告 M.1450-5「ブロードバンド無線 LAN ネットワークの特性」の改訂案への入力を求める BWA・RLAN 外部機関へのリエゾンであり、スクエアブラケットに入れられている第二段落に関し、中国から合意の表明があり、また、イランから第三行目の”advise”を”indicate”に置き換える提案があり、編集の上、承認された。

【TEMP/135 R1】

・ITU-R 勧告 M.1802-2「移動業務の移動及びノマディック・アプリケーションを含むブロードバンド無線アクセスシステムの無線インタフェース規格」の改訂への入力を求める BWA・RLAN 外部機関へのリエゾン案であり、TEMP/132 と同様に、第二段落がスクエアブラケットに入れられており、スクエアブラケットを削除の上、承認された。

（3） WG 3. PPDR

・出力文書なし（中間プレナリにて完了）

（4） WG 4. Interference & sharing

【TEMP/108 R1】

・議題 9.1 a)に関し WP 7C が行っている検討に関して追加の情報を提供する WP 7C への返信リエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/109 R1】

・議題 1.14 に関連する WP 7C への同様なリエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/128 R1】

・議題 1.18 について、WP 4C に要請に応じて追加の情報を提供する WP 4C への返信リエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/129 R1】

・議題 1.8 について、WP 5B からの要請に応じて追加の情報を提供する WP 5B への返信リエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/130 R1】

・議題 1.19 について、WP 4A の作業のための関連情報を提供している WP 4A へのリエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/138 R2】

・これは Revision 2 で、WG 4 で Revision 1 が合意され、WP 5C が加わる計画の WP 5C との合同のリエゾンであったが、WP 5C はこのリエゾンに加わらないことに決めたため、そのため、Revision 1 から Revision 2 への唯一の違いは情報源として、WP 5C を削除したことである。

・ITU-T と ITU-D への返信リエゾンであり、特段の異議なく、承認された。

【TEMP/140 R1】
・入力文書に基づき作成した編集文書であり、BR が発出した周波数の使用と需要に関する回章への返信である。特段の異議なく、承認された。

【TEMP/139 R1】
・検討のための共用パラメータに関する情報で、編集（寄せ集め）文書である。改めて、これはメンバーから受け取った入力文書を基にしており、それらをレビューするため、パラメータを詳しく検討されていない。
・フランス、UAE、イラン、ドイツ、エジプト、英国、韓国による長時間に渡る議論の結果、イランが妥協案を数回提示するも、UAE の反対により、合意されなかった。

【TEMP/141 R1】
・TEMP/139 R1 と TEMP/140 R1 を添付する TG 6/1 へのリエゾン案である。
・フランス、UAE、イラン、韓国、ドイツによる議論の結果、UAE の反対により、合意されなかった。
・プレナリ後、TEMP/139 R1 に係る内容を削除・編集の上、TG 6/1 に送付。

【TEMP/116 R1】
・議題 1.16 及び 1.17 について、WP 4A への返信リエゾンであり、UAE、イラン、ルクセンブルク、インマルサット、米国、カナダ、サモア、韓国、英国の発言の後、承認された。

（5） WG 5. New technologies
・出力文書なし（中間プレナリにて完了）

(6) Ad Hoc WG 5A/5C
【TEMP/146 R1】
・WRC-23 議題 9.1 c)のコレスポンデンスグループの ToR (Terms of Reference)であり、ドイツ、UAE、イラン、米国の発言の後、承認された。

- リエゾンラポータの報告について
  ・第三地域の特定の国に関して、吉野氏による文書 5A/357 は、紹介の時間がないため、ノートされた。

- その他の事項について
  ・PPDR を扱う WG 3 について、WG の必要性・継続に関し、問題が提起された。

4 各WG等における審議内容

4.1 WG 1（アマチュア及びアマチュア衛星業務）

【入力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774 共用検討	221 Annex 6 (WP5A); 221 Annex 7 (WP5A); 221 Annex 10 (WP5A); 247 (WP4C); 251 §3.16 (WMO); 261 §9.1b (IARU); 276 (IARU); 293 (Canada); 348 (WP3M) Rec. ITU-R M.1732: 277 (IARU) 10 MHz to 15.5 GHz: 278 (IARU)

【出力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774 共用検討	5A/TEMP/126R1 5A/TEMP/124, 125R1, 127 (Carry forward) 5A/TEMP/123R1(Carry forward) 5A/TEMP/108R1(through WG4)

【出席者】
議長：Mr. Dale Hughes（オーストラリア）
【審議概要】

・WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する文書 6 件を審議し、WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関するキャリーフォワード文書 3 件とリエゾン文書 1 件を出力した。

・勧告 M.1732 の改訂に関する入力文書 1 件を審議し、暫定改訂案を作成してキャリーフォワードした。

・WRC-23 議題 9.1 トピック a)に関する文書 1 件を審議し、WRC-23 議題 9.1 トピック a)に関する WP 7C へのリエゾン文書 1 件を WG4 経由で出力した。

4.1.1 WRC-23 議題 9.1 トピック b)の検討

【入力文書】
221 Annex 6 (WP5A); 221 Annex 7 (WP5A); 221 Annex 10 (WP5A); 247 (WP4C);
251 §3.16 (WMO); 261 §9.1b (IARU); 276 (IARU); 293 (Canada) ; 348 (WP3M)
【出力文書】
5A/TEMP/126R1
5A/TEMP/124, 125R1, 127 (Carry forward)
【審議概要】

・アマチュア及びアマチュア衛星業務のシステム及びアプリケーションの特性についての新報告案 M.[AMATEUR CHARACTERISTICS]に向けての作業文書について、入力文書 276 及び 293 を審議し、アマチュア・バンドプランに関するテキストと表、RNSS の周波数とアマチュア・バンドプランの関係尾を示す図、RNSS 受信機への干渉測定に関する記述を追記する改訂を行った。文書のステータスを作業文書から PDN Report に格上げし、次回会合にキャリーフォワードした。

・WP 4C からの検討状況の連絡リエゾン文書 247、WP3M から WP4C への返信リエゾン文書 348、WMO の情報文書 251 及び IARU の情報文書 261 をノートした。

・CPM テキスト草案に向けた作業文書については新たな入力はなく、エディトリアルな修正を加えてキャリーフォワードした。

・WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する作業計画を更新し、キャリーフォワードした。

4.1.2 共用に関する検討

【入力文書】
Rec. ITU-R M.1732: 277 (IARU)
10 MHz to 15.5 GHz: 278 (IARU)
【出力文書】
5A/TEMP/123R1(Carry forward)
5A/TEMP/108R1(through WG4)
【審議概要】

・ITU-R 勧告 M.1732 の改訂に関する入力文書 5A/277 を審議し、暫定改訂勧告案を作成してキャリーフォワードした。

・WRC-23 議題 9.1 トピック a)に関する文書 1 件を審議し、WRC-23 議題 9.1 トピック a)の検討のためにアマチュア及びアマチュア衛星業務関連の勧告を WP7C に通知するリエゾン文書 1 件を WG4 経由で出力した。

4.2 WG 2（システムと標準）

【入力文書】

Railways (incl. Res. 240 (WRC-19))	RSTT: 70 (Motorola Solutions); 85 Annex 12 (WP5A); 156-Res.240 (3GPP); 257 (CEPT FM56); 269 (USA); 272 (IAFI); 286 (Japan); 291 (Korea); 318 Annex (France) Rep. M.2442: 85 Annex 13 (WP5A) Rec. RSTT Frequencies: 85 Annex 11 (WP5A); 287 (Japan); 304 (China); 318 Attachment (France)
Broadband Wireless Access	Rec. M.2134: 221 Annex 11 (WP5A); 292 (Russian Federation); 317 (France) Rec. M.1801: 80 (Chairman, WP5A); 246 (IEEE); 252 (WP5D); 296 (Canada); 306 (China) UAVs: 228 (ITU-T SG20) Broadband for rural and remote areas: 258 (ITU-D SG1)
Land mobile systems	Utilities: 221 Annex 12 (WP5A); 274 (IAFI) Characteristics of IoT devices: 235 (ITU-T SG 11) PSME: 242 (UK/CEPT WGFM)
Air to Ground	Update of Rep. ITU-R M.2282: 1065 Annex 6 (WP5A); 281 (Germany); 310 (Saudi Arabia) New Report: 1065 Annex 7 (WP5A)
RLAN characteristics	Rec. M.1450: 844 Annex 17 (WP5A); 79 (Chairman, WP5A); 245 (IEEE); 254 (ATIS); 305 (China); 319 (France) Support WG4 with characteristics for sharing & coexistence studies
ANT, HNT	351 (ITU-T SG9); 352 (ITU-T SG15); 353 (ITU-T SG15)

【出力文書】

Railways (incl. Resolution 240 (WRC-19))	5A/TEMP/102(Workplan), 107(Question), 120(M.2442), 121(FRQ), 137(LS)
Broadband Wireless Access	TEMP/134 (WD on M.1801);135(LS to EO);136(WP on M.1801)
Land mobile systems	TEMP/105 (Report on Utilities; 5A/235 (LS-ITU-T SG11)
Air to Ground	TEMP/104 (Revision on Rep. ITU-R M.2282)
RLAN characteristics	TEMP/131 (WD on ITU-R M.1450); 132(LS to EO); 5A/133 (WP on ITU-R M.1450)
ANTs, HNTs, etc.	None

【出席者】

議長：Mr. Lang Baozhen(中国)、各国代表団

【審議概要】

【Railways】

・102 (Work Plan)について、いくつか軽微な修正が行われたうえで、合意された。

・107 (Question)について、タイトルへのスクエアブラケットの付け方について、軽微な修正が行われ、Plenary に上程されることとなった。

・120 (M.2442)について、そのままキャリーフォワードされることとなった。

・121 (Rec.M.[RSTT_FRQ])について、編集履歴を削除の上、キャリーフォワードされることとなった。

・137 (LS)について、フランスから、照会ではなく、情報提供を目的とするように修正が提案され、日本、中国が同意したが、米国から、時期尚早で、次回にすべきと反対のコメントがあり、英国、IAFI、ドイツがこれに賛同した。その後も議論が行われたが、最終的に合意に至っていないということで、次回会合にキャリーフォワードされることとなった。

【Broadband Wireless Access】

・ITU-R 勧告 M.2134「共用及び両立性検討での使用のための 27.5-29.5 GHz 帯の移動業務のシステムのための受信機の特性及び保護基準」の改訂について、合意に達しなかった。保護基準のより一般的な移動業務への関連性を考えると、この問題を上位のレベルの提出することが提案された。

・入力寄与文書に基づき、ITU-R 勧告 M.1801-2 の改訂草案に向けた作業文書、外部機関へのリエゾン及び作業計画を作成した。ITU-R 勧告 M.1801 に関する改訂作業のための作業計画に向けた作業文書は、Attachment 2 に添付されている。

・作業文書に関し、いくつかの主管庁は、FSS を含む他の業務との両立性の条件が提案の周波数帯での RLAN で述べられていないため、提案に合意できないとの見解であった。

・UAV に関する ITU-T SG 20 及びルーラル及び地方のブロードバンドに関する ITU-D SG 1 により提供された情報について、ノートした。この点について、更なるアクションは必要ないとされた。

【Land mobile systems】

・公共通信について、IAFI から 1 件の寄与文書を受領し、当該文書は、文書 TEMP/105 に統合された。

・IoT 機器の特性について、ITU-T SG 11 への返信リエゾンを作成した。（文書 TEMP/235）

・PMSE について、入力寄与文書 5A/242 は、周波数の使用及び将来の周波数の要件に関する情報を提供し、ECC 報告 323 が埋め込まれている。5A/242 はキャリーフォワードされた。

【Air to Ground】

・ITU-R 報告 M.2282 について、ドイツ及びサウジアラビアから 2 件の寄与文

書を受領した。寄与文書は一つの文書に統合された。（5A/TEMP/104）

・「ブロードバンド空対地システム － 旅客機とのブロードバンド空対地（A2G）直接通信リンクのための陸上移動業務での周波数の使用」に関するITU-R 新報告草案に向けた作業文書について、新たな入力文書がなかったため、新報告の作成を中止することに合意した。

【RLAN characteristics】

・勧告 ITU-R M.1450 の修正について議論され、IEEE、ATIS の寄書、及び会合での議論中に日本、欧州、中国等が提示した修正案などを反映した形で作業文書が作成された。また、ワークプラン、外部組織へのリエゾン文書案が作成された。リエゾン文書は WP5A プレナリで送付が合意された。会合中、オフラインメール議論が設定され、WP5A 議長が主催者を務めた。

【ANTs、HNTs、etc.】

・3 件の入力文書について、キャリーフォワードされることとなった。

・時間の制約により、3 件のリエゾンは次回 WP 5A 会合で検討されることとなった。

4.2.1 RSTT に関する検討

【入力文書】
RSTT: 70 (Motorola Solutions); 85 Annex 12 (WP5A); 156-Res.240 (3GPP); 257 (CEPT FM56); 269 (USA); 272 (IAFI); 286 (Japan); 291 (Korea); 318 Annex (France)
Rep. M.2442: 85 Annex 13 (WP5A)
Rec. RSTT Frequencies: 85 Annex 11 (WP5A); 287 (Japan); 304 (China);
【出力文書】
Work Plan: 102
Question RSTT: 107
Rep.M.2442: 120
Rec.M.[RSTT_FRQ]: 121
LS: 137
【審議概要】
最初に、①Work Plan、②Study Question、③Recommendation、④Report M.2442 の順で文書作成作業を進めることが合意された。

【Work Plan】
主に以下のスケジュールとする、Work Plan を完成させた。

・第 25 回会合（2021 年 4 月） : Resolution240(WRC-19)に基づく Work Plan の完成、Question[RSTT]の PDNQ 格上げ
・第 26 回会合（2021 年 11 月）: Question[RSTT]の作成作業完了と SG 5 への上程、WD2PDN Rec M.[RSTT_FRQ]の作成作業
・第 27 回会合（2022 年 5 月）: Rec M.[RSTT_FRQ]の PDNRec への格上げ
・第 28 回会合（2022 年 11 月）: Rec M.[RSTT_FRQ]の作業完了と WG 5 への上程

【新研究課題 Question [RSTT]】

各国の意見を反映した、ドラフティングが行われた結果、最終案が上程されることとなった。SWG の意見として、今会期中に WG 2、WP 5A Plenary の承認を受けて、SG 5 へ上程するよう要望することとした。

なお、日本からの Train Radio に限定する提案は採用されなかったが、Recognizing パートの Recommendation の引用のしかたについては、日本から Resolution 240(WRC-19)の記述に合わせるべきという意見を述べ、当該記述に修正された。さらに、decides の章に記載されていた Compatibility の検討に関する項は、移動業務へ割り当てられている中での議論であり、共用検討は不要であるとの日本の主張が認められ、寄与文書での提案どおり、当該項目は削除された。

【新勧告 M.[RSTT_FRQ]】

前回、前々回の入力文書が全く議論されていないことから、前研究サイクルの最後にキャリーフォワードされた文書(5A/1065 Annex 4)に、2020 年 7 月と 11 月、今会合の入力文書（5A/50 (Korea), 59 (Japan), 287 (Japan), 304 (China)）を集約したドキュメントをベースに議論が行われた。

日本が提案した列車無線に限定して優先的に勧告を完成させる案については、賛同を得ることができなかったが、Work Plan にて勧告の作業完了目標時期が設定されたことから、提案の目的であった勧告の作成作業の推進が図られるものとして当該提案の削除を受け入れることとした。

Annex 2（国に特化した周波数と用途のリスト）については、Report ITU-R M.2442 に移動することなった。

Recommends パートに記載されている調和周波数のリストについては、2 つのオプションについて、Option 1 が良いと主張するフランスに対し、日本は Option 2 を支持した。その後、IAFI より Annex をリージョンごとに分ける案が提案され、多くの意見が交わされた結果、最終的には、次回に分割した Annex の構成案を提案して継続して議論を行うこととなった。それに伴い、各リージョンからの情報を得るため、各地域組織にリエゾン文書を出すこととなった。

周波数の調和方法を記載した Appendix にはスクエアブラケットが付けられた。

作業文書は、次回会合にキャリーフォワードされることになった。

【報告 M.2442 の改訂】

前々回会合から継続審議となっているウズベキスタンで使用されている周波数と用途に関する情報の追加と、新勧告草案に向けた作業文書の Annex2 に記載されていた国に特化した周波数と用途のリスト（オーストラリア、韓国）の内容が転記され、次回会合にキャリーフォワードされた。

【LS】

新勧告における調和周波数に関する情報を得るため、各地域組織（APT, ASMG, ATU, CEPT, CITEL, RCC）に対して、情報提供を求める LS を作成し、

WG 2 に上程された。

4.2.2 ブロードバンド無線アクセス（BWA）に関する検討

【入力文書】
Rec. M.2134: 221 Annex 11 (WP5A); 292 (Russian Federation); 317 (France)
Rec. M.1801: 80 (Chairman, WP5A); 246 (IEEE); 252 (WP5D); 296 (Canada); 306 (China)
UAVs: 228 (ITU-T SG20)
Broadband for rural and remote areas: 258 (ITU-D SG1)
【出力文書】
TEMP/134 (WD on M.1801);135(LS to EO);136(WP on M.1801)
【審議概要】

・ITU-R 勧告 M.2134「共用及び両立性検討での使用のための 27.5-29.5 GHz 帯の移動業務のシステムのための受信機の特性及び保護基準」の改訂について、入力寄与文書 5A/292 及び 5A/317 は、送信機の技術・運用特性が、受信機とともに、第 2 節の一部として文書に含まれるべきであることを提案している。さらに、移動業務の保護基準は、第 3 節で例えば「上述の I/N 値は、時間率 20%を超えないべきである」などの追加により、精度を高めるべきであることを提案している。しかし、議論によって合意に達しなかった。保護基準のより一般的な移動業務への関連性を考えると、この問題を上位のレベルの提出することが提案された。

・入力寄与文書に基づき、ITU-R 勧告 M.1801-2 の改訂草案に向けた作業文書、外部機関へのリエゾン及び作業計画を作成した。ITU-R 勧告 M.1801 に関する改訂作業のための作業計画に向けた作業文書は、Attachment 2 に添付されている。

・作業文書に関し、いくつかの主管庁は、FSS を含む他の業務との両立性の条件が提案の周波数帯での RLAN で述べられていないため、提案に合意できないとの見解であった。

・UAV に関する ITU-T SG 20 及びルーラル及び地方のブロードバンドに関する ITU-D SG 1 により提供された情報について、ノートした。この点について、更なるアクションは必要ないとされた。

4.2.3 陸上移動システムに関する検討

【入力文書】
Utilities: 221 Annex 12 (WP5A); 274 (IAFI)
Characteristics of IoT devices: 235 (ITU-T SG 11)
PSME: 242 (UK/CEPT WGFM)
【出力文書】
TEMP/105 (Report on Utilities; 5A/235 (LS- ITU-T SG11)
【審議概要】

・公共通信について、IAFI から 1 件の寄与文書を受領し、当該文書は、文書 TEMP/105 に統合された。

- IoT 機器の特性について、ITU-T SG 11 への返信リエゾンを作成した。（文書 TEMP/235）
- PMSE について、入力寄与文書 5A/242 は、周波数の使用及び将来の周波数の要件に関する情報を提供している。ECC 報告 323 が埋め込まれていて、ECC 報告 3323 は、ITU-R 決議第 59-2 に直接関係する情報を含み、PMSE アプリケーションの技術・運用の検討に関する節で構成されている。ECC 報告 323 は、関連する ITU-R 報告又は勧告の作成のため参考として使用される。
- 5A/242 はキャリーフォワードされた。

4.2.4 空対地に関する検討

【入力文書】
Update of Rep. ITU-R M.2282: 1065 Annex 6 (WP5A); 281 (Germany);
310 (Saudi Arabia)
New Report: 1065 Annex 7 (WP5A)
【出力文書】
TEMP/104 (Revision on Rep. ITU-R M.2282)
【審議概要】
- ITU-R 報告 M.2282 について、ドイツ及びサウジアラビアから 2 件の寄与文書を受領した。寄与文書は一つの文書に統合された。（5A/TEMP/104）
- 「ブロードバンド空対地システム ー 旅客機とのブロードバンド空対地（A2G）直接通信リンクのための陸上移動業務での周波数の使用」に関する ITU-R 新報告草案に向けた作業文書について、新たな入力文書がなかったため、新報告の作成を中止することに合意した。

4.2.5 無線 LAN（RLAN）の特性に関する検討

【入力文書】
Rec. M.1450: 844 Annex 17 (WP5A); 79 (Chairman, WP5A); 245 (IEEE); 254 (ATIS);
305 (China); 319 (France)
Support WG4 with characteristics for sharing & coexistence studies
【出力文書】
TEMP/131 (WD on ITU-R M.1450); 132(LS to EO); 5A/133 (WP on ITU-R M.1450)
【審議概要】
- IEEE が、最近の IEEE 802.11 無線 LAN 標準規格の更新に伴い、勧告 ITU-R M.1450 の修正を過去 2 回の WP5A 会合で提案してきたが、中国・ロシア等の反対により否決されていた。今回改めて、ほぼ同内容の案が提示され、議論された。
- 新規の寄書入力として、IEEE に加えて ATIS から ATIS 標準仕様の勧告 ITU-R M.1450 への追加案が提示され、またフランスから欧州の 6GHz 帯の制度の情報提供、中国からワークプラン案が提示された。

・IEEE の提案の中で、IEEE 802.11ax の 6GHz 帯の追記などの部分に対して、中国・ロシア等が、固定衛星の保護のため、決議 229(WRC-19 改)の対象となる 5GHz 帯以外の周波数の記載に強く反対し、議論が難航した。

・作業文書、他組織への標準仕様更新の照会のリエゾン文書案、ワークプランを作成する方向となった。

・オフラインメール議論が開催され、WP5A 議長(Jose Costa)が主催者となった。オフライン議論の中で、日本から、各国の制度記載部分（表 3）について、国内制度と整合させる修正案が提示され、作業文書に反映された。また英国提示の欧州の 6 GHz 帯制度概要も作業文書に反映された。IEEE の修正提案のうち IEEE 802.11ax の 6GHz 帯の部分などの記載に中国・ロシアが引き続き懸念を示した。

・作業文書の議論では、特に recommends 1 の部分の文言について議論が紛糾した。全体として合意に至らない部分が多いため当該部分には Editor's note を付記し、次回会合で継続議論となった。

・他組織への照会のリエゾン文書については、既存業務との共用検討の実施有無を確認するテキストの要否で議論が紛糾した。WP 5A プレナリで、そのようなテキストは含めないことで合意し、他組織に送付されることとなった。

・ワークプランについては、当初の中国の寄書の案では 2023 年 11 月までの期間となっていたが、2023 年 5 月までの短縮案が示された。文書全体が合意されていない旨の Editor' s note が追記され、次回会合で継続議論となった。

4.2.6 ANT、HNT 等

【入力文書】
5A/351 (ITU-T SG9); 5A/352 (ITU-T SG15); 5A/353 (ITU-T SG15)
【出力文書】
なし
【審議概要】
・3 件の入力文書について、キャリーフォワードされることとなった。

・時間の制約により、3 件のリエゾンは次回 WP 5A 会合で検討されることとなった。

4.3 WG 3（PPDR）

【入力文書】

Updates of ITU-R Reports Update of Compendium Liaison statements	M.2377: 891 (WP 5D) 270 (USA) 227 (WP5B); 230 (ITU-T SG11); 239 (ITU-T SG2); 255 (FG-AI4NDM); 265 (ITU-D SG2)

【出力文書】

Update of Compendium Liaison statements WG3 Chairman's Report	5A/TEMP/99R1 5A/TEMP/94R1,95 5A/TEMP/119

【出席者】
Amy Sanders (米・議長)、酒井原、米、加、豪、韓、中、モトローラ等最大 58 名
【審議概要】

・WG 3 は、PPDR(Public Protection and Disaster Relief)について審議する WG であり、今会合中に 1 回開催され、キャリーフォワード文書 1 件を含む 6 件の入力文書を審議した。

・主な議題は、M.2377 の改訂の検討と、外部からの入力文書への対応である。

・コンペンディアム（抄録）に関する検討については、US からの入力文書をか確認し議論を行った。幾つかの意見交換を実施し、US 提案内容に合意し、適切な関係機関への LS を作成した。

・M.2377 については、今回も入力文書がなく、議長によって議論停止が提起されたが、もう一度入力を待ち、次回会合にキャリーフォワードされた。

・ITU-T SG 11 からのリエゾン文書 5A/99 及び WP 5D から ITU-T SG 11 に向けたリエゾン文書の 5A へのコピー5A/175 については、情報として了知した。ITU-D SG2 からのリエゾン文書 5A/155、5A/172 及び、WP 5D から ITU-D SG 2 に向けたリエゾン文書の 5A へのコピー5A/150 についても情報として了知し、特段のアクションはなしとした。

・ほか、外部からの LS に対して確認と議論を行い、2 件の LS を作成した。

・ITU-R M.1307 の確認については、主幹である WG5 と連携しながら対応を継続することで合意した。

4.3.1 コンペンディアム（抄録）に関する検討

【入力文書】
270 (USA)
【出力文書】
5A/TEMP/99R1
【審議概要】

・A270:「Compendium of ITU’s work on Emergency Telecommunications」に関する Suppression と Website ベースへの情報の切り替えに関し、US からドキュメントの説明があった。

・議長から、本ドキュメントは ITU-R/D/T に跨った活動の文書であり、どのよ

うな進め方が最適化議論するところから始める旨のコメントがあった。

・モトローラ、よりドキュメントの重要性理解と方針賛同のコメントがあった。

・モトローラの別の担当から、重要な部分の更新について議論すべきではとのコメントがあったが、議長は膨大な古い資料のレビューは効率的ではなく、最新の情報を Web に乗せることに留意すべきという、説明が US のドキュメントに記載があり、その内容で方針には十分と考えるとのコメントがあった。

・また、US から、本入力は活動のキックであり、進め方については、今後の議論となる旨のコメントがあった。議長から、進め方についての具体的な寄書が必要というコメントがあり、LS を検討する方向で合意された。

・LS は、TEMP99: [Draft] Liaison statement to Relevant Parties：PROPOSED HANDLING OF THE COMPENDIUM OF ITU'S WORK ON EMERGENCY TELECOMMUNICATIONS として議長が準備した TEMP ドキュメントを確認。

・ドラフト案から微小変更をした物を TEMP として審査。大きな指摘は無く、モトローラのコメントでタイトルの HANDLNG を SUPRESSION に変更して WG3 で承認後、5A プレナリで承認された。

4.3.2 ITU-R 報告に関する検討

【入力文書】
M.2377: 891 (WP5D)
【出力文書】
なし
【審議概要】

・5A/891：5D からの勧告 M.2377 の改訂に関する入力に対して、数回の会期を経ても新たな入力が無く、更新内容はエディトリアルなものであり、より実質的な内容の追加が無い現状で、前回の会合での合意に従って、本書扱いは一旦停止する旨の確認があった。これに対してモトローラ(5D PPDR 担当)から、M.2291 の更新・IMT-2020 のコンセプト検討など更新した活動内容をアップデートして入力する旨のコメントがあり、一度のみ活動を継続することで合意した。

4.3.3 リエゾンに関する検討

【入力文書】
227 (WP5B); 230 (ITU-T SG11); 239 (ITU-T SG2); 255 (FG-AI4NDM); 265 (ITU-D SG2);
【出力文書】
5A/TEMP/94R1, 95
【審議概要】
【5A/227】

・入力は WP 5B の活動（ITU-T SG 11 への LS）の WP 5A への共有であり、対処不要とする方針が議長から示されて、合意された。

【5A/230】

・ITU-T SG11 からの LS で、Q.3060 が完成したことを伝えるもので、本情報提供に対して謝意を伝えるための LS を作る方向性が議長から示されて合意された。

・WG3 のコンタクト先となっているモトローラも、方向性を了解した。

・LS は TEMP95：[DRAFT] reply LIAISON TO ITU-T STUDY GROUP 11(Copy to ITU-D SG2 Q5/2 and ITU-R Working Parties 5B and 5D) Disaster Relief Use Cases、として議長が用意したドラフトを審議。

・全体については特段の指摘なく承認。PPDR 関係 SDO を Attachment1 として添付。Res646 の記述を削除し、M.2009 の WRC-15 連携が最終版か検証をすることを確認。WRC との連携他、誤解を受けないようにオフラインで修正することで WG3 で承認後、5A プレナリで承認された。（M.2009-2 は 2019 年改版で WRC-15 の記載となっている）

【5A/239】

・ITUT-T SG 2 からの活動状況共有のためのリエゾン文書であり、特段の対応は不要との議長の考え方が示されて合意された。

【5A/255】

・AI に関する活動に関連するものであり、内容が深いが、議長の理解に従って情報提供に関する LS 案を作成するとの議長方針があり、合意された。

・LS は TEMP94： [DRAFT] reply LIAISON TO ITU-T Focus Group on AI for Natural Disaster Management (FG-AI4NDM),：Invitation to provide inputs to the Roadmap of AI activities for Natural Disaster Management：として議長が作成した案を審議し、特に指摘なく WG3 で承認後、5A プレナリで承認された。

【5A/265】

・ITU-D SG 2 からの活動状況の共有のためのリエゾンであり、特段の対応は不要との議長の考え方が示されて合意された。

4.3.4 WP 5A 文章の改訂に関する検討（4.4.5 と連動）

【入力文書】

-Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/221

-Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service,

【出力文書】

なし

【審議概要】

・WG5主幹で、WG3にもアサインされている、M.1307の取り扱いに関する対応を議論。

・「AUTOMATIC DETERMINATION OF LOCATION AND GUIDANCE IN THE LAND MOBILE SERVICES」は1997年から更新されていない勧告で、その情報の多くが現在の技術とマッチしない物となっている。WG3としては、本ドキュメントのSuppressionも視野に入れた取り扱いに向け次回以降のミーティングのアイテムとして扱う事で合意。どのように取り扱うか入力文書を求める方向とした。

・オランダから、本ドキュメントのAnnexには英国、米国、日本のAnnexが記載されており、取扱いには、この三者の確認が必要であろうことがコメントされた。WG5ともEmergency Communicationが含まれるので継続WG3でも議論する方向で合意した。

4.4 WG 4（干渉と共用）

【入力文書】

Documents copied to WP 5A for information	236 (WP1C); 237R1 (WP1A); 345 (WP7A); 222 (ITU-T SG5); 266 (WP7B); 341 (WP7C); 262 (WP6A); 223 (WP5C); 229 (WP5B); 234 (WP5C); 232 (WP5C); 339 (WP7C); 264 (WP7B); 338 (WP7C); 226 (WP5C); 344 (WP7C); 224 (WP5C);
Other documents that could be noted - Preliminary WMO positions on WRC-23 agenda: 251 (WMO) - Preliminary IARU positions on WRC-23 agenda: 261 (IARU)	251 (WMO) 261 (IARU)
Working documents without new input contributions - Revision of Recommendation ITU-R M.1824: 221 Annex 13 - Sharing by zones: 976 Annex 14 - RLAN sharing: 976 Annex 17; 1065 Annex 9, Annex 10, Annex 11, Annex 12	221 Annex 13 976 Annex 14 976 Annex 17; 1065 Annex 9, Annex 10, Annex 11, Annex 12
- SWG WRC-23 agenda item 1.3:	74 (ESOA); 88 (WP5B); 190 (China); 192 (China); 203, 204 (Ericsson, Huawei, Intel, Nokia, Samsung); 221 Annex 4, Annex 5; 233 (WP5C); 298 (Sweden, Finland); 299 (China); 301 (China); 308 (GSMA); 313 (South Africa, Zimbawe); 322 (Germany); 328 (ESOA); 330 (GSA); 331 (Egypt, UAE); 332 (Egypt, UAE); 333 (Egypt, UAE); 334 (Egypt, UAE)
- DG WRC-23 agenda item 1.5:	176 (UK); 179 (BBC); 186 (France); 197 (Thales SA); 199, 200, 201 (Germany); 202 (Motorola Solutions); 221 Annex 3 Attachment 4; 240R3 (France); 243 (CEPT CPG PTD); 249, 250 (WP5D); 315, 316 (France); 323 (Germany et al.); 324, 325 (Germany); CACE/966: 259 (Switzerland); 267 (Sweden); 268 (Austria); 279 (UK); 282 (Russian Federation); 309 (Saudi Arabia); 311 (Ireland); 312 (The Netherlands); 314 (Tunisia); 320 (Italy); 326 (Lithuania); 335 (UAE)
Documents for discussion in WG5A-4 (carried forward documents highlighted in grey)	- General: 231 (Iran) - Revision of Report ITU-R M.2116: 300 (China) - IMT: 47 (France) - Range 92-109.5 GHz: 85 Annex 15; 137 (WP7C); 285 (Japan) - Range 252-296 GHz: 221 Annex 15; 221 Annex 3 Attachment 3; 244 (TIA TR-45); 288 (Japan); 289 (Japan)

	- EMF: 253 (ITU-D SG2); 263 (ATDI) - AI 1.2: 15 (WP 5D); 206 (UAE) - AI 1.4: 248 (WP5D) - AI 1.12: 342 (WP7C) - AI 1.14: 340 (WP7C) - AI 1.16: 32 (WP 4A); 221 Annex 3 Attachment 5 - AI 1.17: 31 (WP 4A); 221 Annex 3 Attachment 5 - AI 1.18: 29 (WP 4C) - AI 1.19: 30 (WP 4A); 214 (WP 4A) - AI 9.1 a): [pending on input from WG5A-1] - Res. 731: >71 GHz: 221 Annex 14; 225 (Chairmen, SG1, SG5 and SG7); [260 (IEEE);] 295 (Canada); 327 (ESA, EUMETSAT); 343 (WP7C)
Revision of WP 5A texts	‐ Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/221 – Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service,

【出力文書】

Revision of Recommendation ITU-R M.1824	5A/TEMP/114
WRC-19 agenda item 1.3	5A/TEMP/110 (Parameter compilation); 5A/TEMP/117 (SWG Chairman’s Report)
WRC-23 agenda item 1.5	5A/TEMP/139 (parameter compilation); 5A/TEMP/140 (spectrum use and needs compilation); 5A/TEMP/141 (LS to TG 6/1)
Revision of Report ITU-R M.2116	5A/TEMP/143
Range 92-109.5 GHz	5A/TEMP/115 (PDN Report); 5A/TEMP/118 (LS to 7C)
Range 252-296 GHz	5A/TEMP/112 (LS to 5C); 5A/TEMP/113 (Working doc)
EMF and human exposure	5A/TEMP/138 (LS to ITU-D and ITU-T)
WRC-23 agenda item 1.8	5A/TEMP/129 (LS to 5B)
WRC-23 agenda item 1.14	5A/TEMP/109 (LS to 7C)
WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17	5A/TEMP/116 (LS to 7C)
WRC-23 agenda item 1.18	5A/TEMP/128 (LS to 4C)
WRC-23 agenda item 1.19	5A/TEMP/130 (LS to 4A)
WRC-23 agenda item 9.1, topic a)	5A/TEMP/108 (LS to 7C)
Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5A/TEMP/111 (Working doc)

【出席者】

議長　Michael Kraemer (ドイツ)

【審議概要】

・ITU-R 勧告 M.1824 の改訂を継続した。

・ITU-R 報告 M.2116 の改訂を開始した。

・92-109.5 GHz 帯及び 252-296 GHz 帯及び決議第 731（WRC-19 改）に関連

する作業を継続した。

・WP 5A がリードグループである WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続した。

・WRC-23 関連の共用検討のため、さまざまな WP に技術特性や他の関連情報を提供した。

・前研究会期から持ち越されていた数多くの作業文書について、更なる作業が期待されないことが明らかになったため、中止することを決定した。

4.4.1 入力文書のない作業文書に関する検討

【入力文書】
-Revision of Recommendation ITU-R M.1824: 221 Annex 13
-Sharing by zones: 976 Annex 14
-RLAN sharing: 976 Annex 17; 1065 Annex 9, Annex 10, Annex 11, Annex 12
【出力文書】
5A/TEMP/114 (Preliminary Draft Revision of Recommendation ITU-R M.1824-1)
【審議概要】

・文書 5A/221 に含まれる ITU-R 勧告 M.1824 の改訂のための作業文書（Annex 13）について、本 WP 5A 会合では、更なる入力文書を受領しなかった。そのため、改訂は、勧告改訂草案への第一段階の格上の安定的なレベルに達していると考えられた。改訂の要約が追加され、文書は次回 WP 5A 会合で更なる作業及び最終化の可能性のため、議長報告に添付された。

・Sharing by zones: 976 Annex 14 及び RLAN sharing: 976 Annex 17; 1065 Annex 9, Annex 10, Annex 11, Annex 12（WRC-19 議題 1.16 の RLAN 関連の技術検討文書）について、米国・日本等が、これらの文書は前会期のものであり、議論の継続は不要として、議論の停止を主張した。反対する国がなかったため、これらの文書は議論を停止することが合意された。

4.4.2 WRC-23 議題 1.3 に関する検討

【入力文書】
74 (ESOA); 88 (WP5B); 190 (China); 192 (China); 203, 204 (Ericsson, Huawei, Intel, Nokia, Samsung); 221 Annex 4, Annex 5; 233 (WP5C); 298 (Sweden, Finland); 299 (China); 301 (China); 308 (GSMA); 313 (South Africa, Zimbawe); 322 (Germany); 328 (ESOA); 330 (GSA); 331 (Egypt, UAE); 332 (Egypt, UAE); 333 (Egypt, UAE); 334 (Egypt, UAE)
【出力文書】
5A/TEMP/110 (Parameter compilation); 5A/TEMP/117 (SWG Chairman’s Report)
【審議概要】

・WP 5A がリードグループである WRC-23 議題 1.3 について、WRC-23 に向けた準備作業を継続した。WRC-23 に関連する共用検討及び他の共用検討に関し、技術特性及び他の関連情報を 9 件のリエゾンで、さまざまな WP に提供した。

・SWG は、前回会合で設置され、セザール氏により議長が行われ、作業を継

続した。

・SWG の活動の詳細は、Attachment 5 にある。

・前回 WP 5A 会合の議長報告に含まれている CPM テキスト及び作業計画の作業文書について、本会合では更新されず、変更のないまま次回会合に持ち越された。

・WRC-23 議題 1.3 の下での共用・両立性検討について、議論の中で、WP 5A の陸上移動業務システムと WP 5D の IMT システムで定義されているパラメータに応じて、WRC-23 議題 1.2 の下での検討と非常に類似していることが指摘された。

・また、作業の現在のフォーカスは、作業のために関連情報を収集することに関してであり、リエゾンはすでに前回の WP 5A 会合から全ての寄与グループに送付されていることが、明確にされた。

・検討の実際のスコープ及び WRC-23 議題 1.2 と 1.3 の間の類似性に関する議論は、検討のためのパラメータが利用可能となり、検討の作業が開始されれば、次回会合に先送りされるべき。

4.4.3 WRC-23 議題 1.5 に関する検討

【入力文書】
176 (UK); 179 (BBC); 186 (France); 197 (Thales SA); 199, 200, 201 (Germany); 202 (Motorola Solutions); 221 Annex 3 Attachment 4; 240R3 (France); 243 (CEPT CPG PTD); 249, 250 (WP5D); 315, 316 (France); 323 (Germany et al.); 324, 325 (Germany); CACE/966: 259 (Switzerland); 267 (Sweden); 268 (Austria); 279 (UK); 282 (Russian Federation); 309 (Saudi Arabia); 311 (Ireland); 312 (The Netherlands); 314 (Tunisia); 320 (Italy); 326 (Lithuania); 335 (UAE)
【出力文書】
5A/TEMP/139 (parameter compilation); 5A/TEMP/140 (spectrum use and needs compilation); 5A/TEMP/141 (LS to TG 6/1)
【審議概要】

・このトピックに関し DG を設置し、TG 6/1 からの要求に応じて、情報を準備するため 4 回 DG を開催した。

・回章 CACE/966 に応えて主管庁により提供された周波数の使用及び周波数の需要に関する情報の集録文書を作成することを試みたが、主管庁からの入力のどの要素を集録文書に載せるか、あるいは TG 6/1 に直接提出するべきかについて、WP 5A でパラメータと共用検討がレビューされず、また承認されていなかったため、会合での見解が分かれ、パラメータと共用検討の集録文書に合意できなかった。

・結果として、二つ目の集録文書は、更なる検討のためスクエアブラケットの中にオープンな問題があるまま、WP 5A のクロージング・プレナリに提出された。

・また、BR からの関連情報の参照を含む、TG 6/1 への返信リエゾンの表紙が準備された。上述された未解決の問題に関し、WP 5A のクロージング・プレナリの結果に応じて、表紙を調整する必要があるとの注記が付されている。

4.4.4 入力文書に関する検討

【入力文書】
-General: 231 (Iran)
-Revision of Report ITU-R M.2116: 300 (China)
-IMT: 47 (France)
-Range 92-109.5 GHz: 85 Annex 15; 137 (WP7C); 285 (Japan)
-Range 252-296 GHz: 221 Annex 15; 221 Annex 3 Attachment 3; 244 (TIA TR-45); 288 (Japan); 289 (Japan)
-EMF: 253 (ITU-D SG2); 263 (ATDI)
-AI 1.2: 15 (WP 5D); 206 (UAE)
-AI 1.4: 248 (WP5D)
-AI 1.12: 342 (WP7C)
-AI 1.14: 340 (WP7C)
-AI 1.16: 32 (WP 4A); 221 Annex 3 Attachment 5
-AI 1.17: 31 (WP 4A); 221 Annex 3 Attachment 5
-AI 1.18: 29 (WP 4C)
-AI 1.19: 30 (WP 4A); 214 (WP 4A)
-AI 9.1 a): [pending on input from WG5A-1]
-Res. 731: >71 GHz: 221 Annex 14; 225 (Chairmen, SG1, SG5 and SG7); [260 (IEEE);] 295 (Canada); 327 (ESA, EUMETSAT); 343 (WP7C)

【出力文書】
5A/TEMP/143
5A/TEMP/115 (PDN Report); 5A/TEMP/118 (LS to 7C)
5A/TEMP/112 (LS to 5C); 5A/TEMP/113 (Working doc)
5A/TEMP/138 (LS to ITU-D and ITU-T)
5A/TEMP/129 (LS to 5B)
5A/TEMP/109 (LS to 7C)
5A/TEMP/116 (LS to 7C)
5A/TEMP/128 (LS to 4C)
5A/TEMP/130 (LS to 4A)
5A/TEMP/108 (LS to 7C)
5A/TEMP/111 (Working doc)

【審議概要】

【WRC-23 関連検討のための技術・運用特性】

・WP 5A のオープニング・プレナリで、本トピックに関する議論をノートし、様々な WP への返信リエゾンで関連情報への参照を提供した。

【ITU-R 報告 M.2116】

・本勧告の改訂を開始する提案を検討し、原則としてそれに合意した。しかし、アプローチとして、WP 5A 責任下の他の ITU-R 報告及び勧告の改訂と整合性をとる必要があることが強調された。そのため、本改訂の更なる進捗は、現在進行中の他の WP 5A の成果物の改訂の進捗に依存するということを指摘する、ステートメントをもつ作業文書が作成された。（5A/TEMP/143）

・WP 5D へのリエゾンを送付する提案については、その必要性についての異なる見解のため、合意できなかった。WP 5D はすでに WP 5A に関連情報を提

供していることも指摘された。

【IMT】

・フランスの入力文書 5A/47 は、SG 4 及び SG 5 議長により提供されたガイダンスに取って代わられることがノートされた。そのため、今の時点で更なるアクションのための必要はないこととなった。

【92-109.5 GHz 範囲】

・Annex 3 の現行の文章を維持し、スクエアブラケットを削除し、新報告草案への第一段階の文書の格上する提案に合意した。（5A/TEMP/115 (PDN Report)）

・それにともなって、WP 7C に知らせるリエゾンの準備に合意した。（5A/TEMP/118 (LS to 7C)）

【252-296 GHz 範囲】

・TIA からの情報（5A/244）をノートした。

・IEEE により提供されたとおり（5A/260）、チャネル配置に関する図を組み込むことに合意し、ITU-R 新報告草案 M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]「252-296 GHz 帯で運用する陸上移動業務と固定業務のアプリケーションの両立性」に向けた作業文書作成することとした。（5A/TEMP/113 (Working doc)）

・それにともない、WP 5C へのリエゾンを準備した。（5A/TEMP/112 (LS to 5C)）

【EMF と人体ばく露】

・ITU-D SG 2 により提供された情報をノートし、このトピックに関する WP 5A の見解を提供する返信リエゾンを作成した。（5A/TEMP/138 (LS to ITU-D and ITU-T)）

【WRC-23 議題 1.2】

・入力文書に関し、更なる議論を行わなかった。WRC-23 議題 1.3 に関する節で述べられている関連議論を考慮することとなった。そのため、文書 5A/15（WP 5A）と 5A/206（UAE）については、更なる検討のため、次回 WP 5A 会合にキャリーフォワードされることとなった。

【WRC-23 議題 1.4】

・WP 5D により提供された情報をノートし、現段階では更なるアクションの必要は見られなかった。

【WRC-23 議題 1.8】

・BR により提供された情報に基づき、WP 5B による要求に応じて、更なる情報を提供するリエゾンを作成した。（5A/TEMP/129 (LS to 5B)）

【WRC-23 議題 1.12】
- WP 7C により提供された情報をノートし、現段階では更なるアクションの必要は見られなかった。

【WRC-23 議題 1.14】
- WG 1（アマチュア業務）からのフィードバック及び BR により提供された情報に基づき、WP 7C により要請された更なる情報を提供するため、リエゾンを作成した。（5A/TEMP/109 (LS to 7C)）

【WRC-23 議題 1.16 及び 1.17】
- 前回 WP 5A 会合で、米国は、同国内で 27.5-28.35GHz 帯で運用中の次世代移動通信システムのラインナップに宅内受信端末（ＣＰＥ）が追加されたことを受け、ＣＰＥの受信機特性や保護基準を入力した。米国は、議題 1.16 及び 1.17 に関する WP4A での検討において、このシステムが参照され、適切に保護されるようにすることを企図していた。しかし、インマルサット、サモア、ルクセンブルグが米国のパラメタについて WP5A で十分レビューされていないとして難色を示した。これに米国が強く反論し、米国をカナダ、韓国が支持した。イランが妥協案を示し、両者を仲介したことも功を奏して、ITU-R 勧告 M. M.2134-0 の内容に米国のパラメタ及び BR が提供した情報を含めた返信リエゾンが合意された。（5A/TEMP/116 R1(LS to 4A)）

【WRC-23 議題 1.18】
- BR により提供された情報に基づき、WP 4C による要求に応じて、更なる情報を提供する返信リエゾンを作成した。（5A/TEMP/128 (LS to 4C)）

【WRC-23 議題 1.19】
- BR により提供された情報に基づき、WP 4A による要求に応じて、更なる情報を提供する返信リエゾンを作成した。（5A/TEMP/130 (LS to 4A)）

【WRC-23 議題 9.1 a)】
- WG 1（アマチュア業務）からのフィードバック及び BR により提供された情報に基づき、WP 7C による要求に応じて、更なる情報を提供するリエゾンを作成した。（5A/TEMP/108 (LS to 7C)）

【決議第 731（WRC-19 改）】
- SG 1、SG 5 及び SG 7 議長、WMO 並びに IEEE により提供された情報をノートした。
- また、カナダ、ESA 及び EUMETSAT からの入力に基づき、前回会合からの作業文書を更新した。（5A/TEMP/111 (Working doc)）
- さらに、WP 7C への返信リエゾンが次回会合で作成されるよう、次回 WP 5A 会合に文書 5A/343 をキャリーフォワードすることとなった。また、作業文書の作成の更なる進捗のため、次回 WP 5A 会合への入力寄与文書が求められた。

4.4.5 WP 5A 文章の改訂に関する検討

【入力文書】
-Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/221
-Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile service
【出力文書】
なし
【審議概要】
- 文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節及び陸上移動業務に関連する ITU-R 文章の使用のガイドについて、本 WP 5A 会合で意見がなく、WP 5A 議長に直接、文書 5A/221 の Annex 1 の第 1 節に関する意見を伝えるよう勧められた。

4.5 WG 5（新技術）

【入力文書】

ITS General:	238 (ITU-T (FG-VM)); 256 (ETSI TC ITS); 280 (ITU-T FG-VM); 297 (Brazil)
ITS CAV (Question ITU-R 261/5):	221 (Annex 16) (WP5A); 283 (Japan); 284 (Japan); 290 (Korea); 302 (China); 303 (China)
275 GHｚ超	Rep. M.2417: 221 (Annex 17) (WP5A); 260 (IEEE); 294 (Canada)

【出力文書】

ITS Rec.M.2121, Rep.M.2444 ITS CAV 275 GHz 超	5A/TEMP/100R1 and 101R1 5A/TEMP/96R1 5A/TEMP/97R1 and 98R1 5A/TEMP/106 5A/TEMP/93

【出席者】

議長　吉野仁 氏（日本）、米国、カナダ、中国、韓国、ブラジル、ドイツ、フランス等

約 40 名～110 名

【審議概要】

- 本WGは今会合中に4回開催され、9件の寄与文書を審議し、8件の出力文書を作成した。ITS関連を審議するためSWG-ITS（小山敏氏(日本)）が設けられた。

【新ITU-R報告草案M.[CAV]に向けた作業文書】

- CAV関連では、日本(5A/283, 284)、韓国(290)、中国(302, 303)から作業文書の加筆や修正等の提案があった。
- 日本から入力したSIP-adusの成果(5A/283)に基づく提案については、中国より、次回会合まで精査したいとの発言があったものの、おおむね受け入れられ作業文書に反映された。提案で用いた各種用語の定義について質問が出され、日本が定義を明確化する寄与文書を作成し次回会合に入力することが求められた。また、‘合流支援(a-1-4) ’は、中国からその実現可能性や動機等に疑問が呈され、ドイツ、ルクセンブルグ等が説明したものの、DG議長の判断により、次回会合でさらなる説明を求めるとして[ ]で囲まれた。逆に、本体から落としたもののうち、‘前方死角情報提供(x-5) ’は、ドイツ、中国が、また‘交差点での衝突回避支援(x-7) ’は、ドイツ、韓国が本体に移すべきと主張し、そうすることとなった。
- 日本から提案したトラックの隊列走行のユースケースに関する修正(5A/384)については特段の異論なく、作業文書に反映された。
- 前回会合で更新した作業文書には、‘5.9GHz帯でCAV用周波数として最低限70MHz幅が必要である’と記載されていた。これに対し、今回、中国は、‘地域や国ごとに交通事情等が異なるため、5.9GHz帯での一律70MHz幅の周波数要求に反対’との追記を提案した(5A/304)。これにドイツやルクセンブルグは一定の理解を示し、必要帯域幅の表を地域ごとに分割し、地域ごとの事情を反映させることにしてはどうかと提案したもの

の、今回会合では解決せず、次回会合でさらに検討することとなった。

【ITU-R勧告M.2121及びITU-R報告M.2444の改訂】

- ブラジルの提案(5A/297)を受けて、ITU-R勧告M.2121及びITU-R報告M.2444の改訂作業を開始することとなった(5A/TEMP/100R1, 101R1)。これに伴い、ITSに関する外部機関及びITU-Rの関連WPに情報提供を要請するリエゾン文書(5A/TEMP/97R1, 98R1)を発出することとした。さらに、作業計画(5A/TEMP/96R1)が作成された。

【ITU-R報告M.2417改訂草案に向けた作業文書】

- IEEE（5A/260）、カナダ（294）から提案があり、これら提案に基づき作業文書が更新され、次回会合で継続審議することとなった（5A/TEMP/93）。なお、改訂草案が参照していないにもかかわらず、参照文書の欄に掲載されている勧告等については[ ]で囲むこととされた。

- 審議の結果、周波数配置の図が合意されたことから、日本から、M.2417の対象周波数の下限を275GHzから252GHzに変更することが提案された。米国より、文書全体に及ぶ変更であるため今回会合で作業に取りかかるのではなく慎重に検討すべきとのコメントがあった。このため、WG5A-5の議長報告に下限周波数変更の提案及び議論があったこと、並びに次回会合への入力寄書を求めることを記載することとなった。

【WP 5Aテキストのレビュー】

- WG 5が所掌するITU-R勧告等を確認したところ、米国の指摘を受けて、古い勧告・報告のレビュー及び次回での適宜の寄与を呼びかけることとなった。

4.5.1 ITS に関する検討

【入力文書】
General: 238 (ITU-T (FG-VM)); 256 (ETSI TC ITS); 280 (ITU-T FG-VM); 297 (Brazil)
CAV (Question ITU-R 261/5): 221 Annex 16 (WP5A); 283 (Japan); 284 (Japan); 290 (Korea); 302 (China); 303 (China)
【出力文書】
5A/TEMP/100R1, 101R1, 96R1, 97R1, 98R1
【審議概要】

- ITU-R 勧告 M.2121「移動業務における高度道路交通システム（ITS）の周波数帯の調和」及び ITU-R 報告「移動業務の下での高度道路交通システム（ITS）の展開のための配置の例」について、改訂を提案する寄与文書（5A/297）を検討した。

- 寄与文書に基づき、ITU-R 勧告 M.2121 及び ITU-R 報告 M.2444 の改訂に向けた作業文書に、ブラジルで使用される周波数帯を追加した（5A/TEMP/100R1、101R1）。

- また、作業計画を作成した（5A/TEMP/96R1）。作業計画は、Attachment

6 にある。

- 関係 WP 及び外部機関に、次回 2021 年 11 月の WP 5A への寄与文書を求める、2 件のリエゾン文書を作成した（5A/TEMP/97R1、98R1）。
- ITU-R 新報告草案 M.[CAV]「コネクテッド自動運転車」について、6 件の寄与文書を検討し、新報告草案に向けた作業文書を更新した。
- また、新報告草案の作成のための現行の作業計画を見直し、承認した。作業計画は Attachment 7 にある。
- 「車両マルチメディアのユースケース及び要件」に関する技術報告に係る ITU-R FG VM（車両マルチメディアのフォーカスグループ）からのリエゾンについて、検討し、ノートすることとした。
- ETSI TC ITS からの ETSI TR 103 439「高度道路交通システム；マルチチャネル運用検討；第 2 版」について、検討し、ノートすることとした。

4.5.2 275 GHz 超に関する検討

【入力文書】
M.2417: 221 Annex 17 (WP5A); 260 (IEEE); 294 (Canada)
【出力文書】
5A/TEMP/93
【審議概要】

- 寄与文書を検討し、ITU-R 報告 M.2417 の改訂に向けた作業文書を更新した（5A/TEMP/93）。
- 会合中、作業文書における「関連する勧告及び報告」の第 3 節で、ITU-R 勧告 F.699 及び ITU-R 勧告 RS.2017 が作業文書で参照されていないとの見解が表明され、それらをスクエアブラケット[ ]に入れることとした。スクエアブラケットの削除を検討できるよう、次回 2021 年 11 月の WP 5A への寄与文書を通じて、これらの勧告を含めることの理由が求められた。
- 寄与文書に基づき、図 8 は、Annex 1 の「周波数チャネル配置の例」における新しい図に置き換えることが合意された。
- その後、第 7.1 節の表 2「共用・両立性検討での使用のための 275-450 GHz 帯の陸上移動の近接移動システム（CPMS）アプリケーションの技術・運用特性」の周波数帯の下限を、275 GHz から 252 GHz、すなわち 252-450 GHz に変更すべきとの見解を日本が表明した。これに対し、米国が、ITU-R 報告 M.2417-0 のタイトルに 275-450 GHz との周波数範囲が記述されていて、更なる議論が必要であるとの見解を表明した。次回 2021 年 11 月の WP 5A にこの問題に関する寄与文書が求められた。
- また、ITU-R 報告 M.2417-0 の改訂に向けた作業文書の作成のための作業計画が見直され、確認された（作業計画は Attachment 8 にある）。

4.6 Ad Hoc WG 5A/5C（WRC-23 議題 9.1 c)）

【入力文書】

WRC-23 Topic 9.1 c)	221 Annex 8 (WP5A); 221 Annex 9 (WP5A); 221 Annex 18 (WP5A); 251 §3.17 (WMO); 271 (USA); 273 (IAFI); 307 (China); 321 (CEPT CPG PTA); 329 (Egypt); 336 (UAE)

【出力文書】

Terms of Reference Correspondence Group on WRC-23 agenda item 9.1, topic c)	5A/TEMP/146

【出席者】

議長　Jose Costa (カナダ)、Pietro NAVA (イタリア)

【審議概要】

・WP 5A と 5C の合同のプレナリについて、2021 年 5 月のブロック会合では必要ないことを合意した。

・WRC-23 議題 9.1 c)「決議第 175 に従った固定業務に一次分配された周波数帯で固定無線ブロードバンドのための IMT の使用の検討」に関する作業について、そのため、Ad Hoc WG 5A/5C で実施された。

・WG では、WMO、米国、IAFI、中国、CEPT、エジプト、UAE 等の計 10 件の入力寄与文書を検討した。

・WMO の文書 5A/251 の第 3.17 節はノートされた。その他の文書は、議論のため、ボキャブラリ（用語）、ITU-R 勧告 F.1401-1、ITU-R 勧告 F.1763-1、新勧告又は報告の提案、CPM テキスト案、作業計画の六つに分類された。

・CPM テキスト案は作成されなかった。

・作業計画は CEPT の提案のとおり更新された。

・WG で、ボキャブラリ（用語）や、既存の勧告の更新提案、新勧告又は報告案の作成提案を議論したが、時間の不足のため、合意に達しなかった。全ての入力寄与文書は、次回会合に持ち越された。

・ToR（Annex 3 の Attachment 9）によりコレスポンデンスグループを創設し、第 25 回会合と第 26 回会合の間に、作業を進めることとなった。

・他の WP へのリエゾンは検討されなかった。議題 9.1 c)に関する作業を促すため、2021 年 11 月に予定の次回会合に寄与文書を入力することが勧められた。

5 今後の予定

WP 5A の次回会合の各 WG 及び Ad Hoc WG の主な審議事項は以下のとおり。

5.1 WG 1（アマチュア及びアマチュア衛星業務）

(1) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の PDN Report M.[AMATEUR CHARACTRISTICS]の作成作業を継続すること。

(2) ITU-R 勧告 M.1732 の改訂作業を継続すること。

(3) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の CPM テキスト草案に向けた作業文書の作成作業を行うこと。

(4) WG 5A-1 の作業計画を更新すること。

5.2 WG 2（システムと標準）

(1) ITU-R 新勧告 M.[RSTT_FRQ]の草案、各リージョンへ送付する LS の作成作業、ITU-R 報告 M.2442 の改訂草案に向けた作業文書について、それぞれの作業文書の更新を実施すること。

(2) ITU-R 勧告 M.1450 修正の議論を行うこと。

5.3 WG 3（PPDR）

(1)決議第 646（WRC-15、改）と連携した勧告・報告の改訂作業を引き続き行うこと。（WP 5D から入力があったが、その後の入力がなく、改訂停止中の ITU-R 報告 M.2377 への対応を含む。）

(2) コンペンディアム（抄録）に関する検討を継続すること。

(3) PPDR に関する情報の収集と発信を継続すること。

5.4 WG 4（干渉と共用）

(1) WRC-23 議題 1.3 について、WRC に向けた周波数共用検討等の準備作業を継続すること。

5.5 WG 5（新技術）

(1) CAV に関する ITU-R 新報告草案 M.[CAV]の作業文書の作成を継続すること。

(2) ITS に関する ITU-R 勧告 M.2121 及び報告 M.2444 の改訂草案に向けての作業文書の作成を継続すること。

(3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務の技術・運用特性に関する ITU-R 報告 M.2417 の改訂に関する作業を継続すること。

5.6 Ad Hoc WG 5A/5C（WRC-23 議題 9.1 c)）

(1) ITU-R 勧告 F.1401-1、ITU-R 勧告 F.1763-1 の改訂に関する検討を継続すること。

(2) 新勧告又は報告の作成の検討を継続すること。

(3) CPM テキスト案の作成を検討すること。

6 次回会合のスケジュール

次回（第 26 回）WP 5A 会合は、2021 年 11 月 15 日（月）～26 日（金）、スイス（ジュネーブ）で開催される予定。

表 2　日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概　要	審議結果	出力文書
WG 2	[287]	Proposed modification to the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RSTT_FRQ] - Harmonization of frequency bands for railway radiocommunication systems between train and trackside	次回会合へキャリーフォワードされ、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/121(Rev.1)
WG 2	[286]	Proposed revision to working document towards a preliminary draft new study Question ITU-R [RSTT] - Studies related to the further development of RSTT	WP 5Aプレナリにおいて承認された。	5A/TEMP/107(Rev.1)
WG 4	[289]	Proposed modification to elements for a liaison statement to Working Party 5C - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]	WP 5Aプレナリにおいて承認された。 WP 5Cにリエゾンを送付した。	5A/TEMP/112(Rev.1)
WG 4	[288]	Proposed modification to elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST] - Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	次回会合へキャリーフォワードされ、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/113(Rev.1)
WG 4	[285]	Proposal to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[100-GHZ.RSTT.EESS.COEXIST] - Coexistence between high-speed railway radiocommunication system between train and trackside operating in the frequency bands 92-94 GHz, 94.1-100 GHz and 102-109.5 GHz, and radio astronomy service and Earth exploration-satellite service (EESS) (active) and EESS (passive)...	新勧告草案への第一段階の格上に合意し、次回会合へキャリーフォワードされ、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP/115(Rev.1)
WG 5	[284]	Proposed modifications to Section 6.3 of working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[CAV] - Connected Automated Vehicles (CAV)	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることになった。議長報告に添付された。	5A/TEMP/106

WG 5	[283]	Proposed modifications to working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[CAV] - Connected Automated Vehicles (CAV)	作業文書に反映され、次回会合で継続検討されることになった。議長報告に添付された。	5A/TEMP/106

表 3　WP 5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	題目	担当 WG	処理
[149]	List of Annexes for the Chairman's Report of the twenty-fifth meeting of Working Party 5A (Document 5A/???)	WP5A	議長報告に添付
[148]	Annex 3 to Working Party 5A Chairman's Report - Report on Activities of WG 2 Systems and Standards	WG5A-2	議長報告に添付
[147]	Report of the meeting on WRC-23 agenda item 9.1 topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication systems for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	Ad Hoc WG 5A/5C	議長報告に添付
[146] (Rev.1)	[Draft] Terms of Reference - Correspondence Group on WRC-23 agenda item 9.1, topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication system for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed services on primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	Chairmen, WPs 5A & 5C	議長報告に添付
[145]	Working Party 5A Management	Chairman, WP5A	議長報告に添付
[144]	Annex 9 to Working Party 5A Chairman's Report - Work plan/report for WRC-23 agenda item 9.1, topic c) - Study the use of International Mobile Telecommunication systems for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	Ad Hoc WG5A/5C	議長報告に添付
[143]	Working document towards a preliminary draft revised Report ITU-R M.2116 - Characteristics of broadband wireless access systems operating in the land mobile service for use in sharing studies	WG5A-4	議長報告に添付
[142]	Elements of Working Party 5A Chair report	Chairman, WG5A-1	議長報告に添付
[141] (Rev.1)	Draft liaison statement to Task Group 6/1 (copy to Working Parties 6A, 5B and 5D for information)	WG5A-4	TEMP/139 R1 と TEMP/140 R1 を添付す

			るリエゾンであるが、TEMP/139がプレナリで合意されなかったため、プレナリ後TEMP/139 R1に係る内容を削除・編集の上、TG 6/1に送付
[140] (Rev.1)	Compilation of information from some Administrations in Region 1 regarding their spectrum use and spectrum needs of the land mobile service within the frequency band 470-960 MHz	WG5A-4	合意。TEMP/141の添付として、TG 6/1に送付
[139] (Rev.1)	Compilation of information from some Administrations in Region 1 regarding parameters and studies related to the land mobile service within the frequency band 470-960 MHz	WG5A-4	TEMP/141の添付としてTG 6/1に送付することに、UAEの反対により不合意
[138] (Rev.2)	Draft reply liaison statement to ITU-T Study Group 5, ITU-D Study Group 2, and ITU-R Working Parties 1A and 1C on EMF - Human exposure to EMF	WG5A-4	ITU-T SG 5及びITU-D SG 2等に送付
[137] (Rev.2)	Draft liaison statement to APT, ASMG, ATU, CEPT, CITEL and RCC - Invitation for input to progress on the development of the working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RSTT_FRQ]	WG5A-2	議長報告に添付
[136] (Rev.1)	Proposed draft work plan for revision of Recommendation ITU-R M.1801-2	WG5A-2	議長報告に添付
[135] (Rev.1)	Draft liaison statement to BWA & RLAN External Organizations - Request for input for a draft revision of Recommendation ITU-R M.1801-2 - Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications in the mobile service	WG5A-2	BWA･RLANの外部機関に送付
[134] (Rev.1)	Annex ?? to Working Party 5A Chairman's Report - Working	WG5A-2	議長報告に添付

	document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1801-2 - Radio interface standards for broadband wireless access systems, including mobile and nomadic applications, in the mobile service		
[133] (Rev.1)	Proposed draft work plan for revision of Recommendation ITU-R M.1450	WG5A-2	議長報告に添付
[132] (Rev.1)	Draft liaison statement to RLAN External Organizations - Request for input for a draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks	WG5A-2	外部機関に送付
[131] (Rev.1)	Annex ? to Working Party 5A Chairman's Report - Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1450-5 - Characteristics of broadband radio local area networks	WG5A-2	議長報告に添付
[130] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - Additional information for studies on WRC-23 agenda item 1.19	WG5A-4	WP 4A に送付
[129] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 5B - Additional information for studies on WRC-23 agenda item 1.8	WG5A-4	WP 5B に送付
[128] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 4C - Additional information for studies on WRC-23 agenda item 1.18	WG5A-4	WP 4C に送付
[127]	Annex 10 to Working Party 5A Chairman's Report - Preliminary draft new Report ITU-R M.[AMATEUR.CHARACTERISTICS]	WG5A-1	議長報告に添付
[126] (Rev.1)	Liaison statement to Working Party 4C (copy to Working Party 3M for information) - Information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic b) - Applications and typical operational characteristics of the amateur and amateur-satellite services operating in the frequency band 1 240-1 300 MHz	WG5A-1	WP 4C 等に送付
[125] (Rev.1)	Annex 7 to Working Party 5A Chairman's Report - Draft Workplan/Report for WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WG5A-1	議長報告に添付
[124]	Annex 6 to Working Party 5A Chairman's Report - Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WG5A-1	議長報告に添付
[123] (Rev.1)	Draft revisions to Recommendation ITU-R M.1732-2 - Characteristics of	WG5A-1	議長報告に添付

	systems operating in the amateur and amateur-satellite services for use in sharing studies		
[122]	Meeting Report of Working Group 5A-5 - New technologies	WG5A-5	議長報告に添付
[121] (Rev.1)	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R M.[RSTT_FRQ] - Spectrum Harmonization for Railway Radiocommunication Systems between Train and Trackside (RSTT)	WG5A-2	議長報告に添付
[120]	Annex XX to Working Party 5A Chairman's Report - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2442-0 - Current and future usage of railway radiocommunication systems between train and trackside	WP5A	議長報告に添付
[119]	Working Group 5A-3 meeting Report - Public Protection and Disaster Relief	WG5A-3 on PPDR	議長報告に添付
[118] (Rev.1)	[Draft] liaison statement to Working Party 7C (copy for information to Working Party 7D) - Preliminary draft new Report ITU-R M.[100-GHZ.RSTT.EESS.COEXIST]	WG5A-4	WP 7C に送付
[117]	Meeting Report of Sub-Working Group 5A-4 on WRC-23 agenda item 1.3	WG5A-4	議長報告に添付
[116] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 4A - Mobile Service technical and operational characteristics and protection criteria for use in sharing studies under WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17	WG5A-4	WP 4A に送付
[115] (Rev.1)	Preliminary draft new Report ITU-R M.[100-GHZ.RSTT.EESS.COEXIST] - Coexistence between high-speed railway radiocommunication system between train and trackside operating in the frequency bands 92-94 GHz,94.1-100 GHz and 102-109.5 GHz, and radio astronomy service and Earth exploration- satellite service (EESS) (active) and EESS (passive) services	WG5A-4	議長報告に添付
[114]	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1824-1 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field	WG5A-4	議長報告に添付

	production in the mobile service for use in sharing studies		
[113] (Rev.1)	[Elements for a] working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST] - Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	WG5A-4	議長報告に添付
[112] (Rev.1)	[Draft] liaison statement to Working Party 5C (copy to Working Parties 1A, 7C and 7D for information) - Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]	WG5A-4	WP 5C に送付
[111]	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.Conditions>275GHz]	WG5A-4	議長報告に添付
[110] (Rev.1)	Technical characteristics and operational parameters of the land mobile service for sharing and compatibility studies under WRC-23 agenda item 1.3	WG5A-4	議長報告に添付
[109] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 7C - WRC-23 agenda item 1.14 - System characteristics of primary services to be used for sharing and compatibility studies in the frequency range 231.5-252 GHz	WG5A-4	WP 7C に送付
[108] (Rev.1)	Draft reply liaison statement to Working Party 7C - Additional information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic a)	WG5A-4	WP 7C に送付
[107] (Rev.1)	Annex XX to Working Party 5A Chairman's Report - [Preliminary] draft new study Question ITU-R [RSTT]/5 - Studies related to the further development of RSTT	WG5A-2	WP 5A プレナリで承認。SG 5 に上程
[106]	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[CAV] - Connected Automated Vehicles (CAV)	WG5A-5	議長報告に添付
[105] (Rev.2)	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UCS] - Utility Communication Systems	WG5A-2	議長報告に添付
[104]	Annex X to Working Party 5A Chairman's Report - Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2282-0 - Systems for public mobile communications with aircraft	WG5A-2	議長報告に添付

[103]	Response liaison statement to ITU-T Study Group 11 - The framework of testing of identification systems used in Internet of Things	WG5A-2	ITU-T SG 11 に送付
[102] (Rev.1)	[Proposed] Annex X to Working Party 5A Chairman's Report - [Draft] work plan for completion of the work on RSTT under Resolution 240 (WRC-19)	WG5A-2	WP 5A 議長報告に添付
[101] (Rev.1)	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2444-0 - Examples of arrangements for Intelligent Transport Systems deployments under the mobile service	WG5A-5	議長報告に添付
[100] (Rev.1)	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.2121-0 - Harmonization of frequency bands for Intelligent Transport Systems in the mobile service	WG5A-5	議長報告に添付
[99] (Rev.1)	[Draft] liaison statement to relevant parties - Proposed suppression of the Compendium of ITU's work on Emergency Telecommunications	WG5A-3 on PPDR	関係団体に送付
[98] (Rev.1)	Liaison statement to Working Parties 4A, 5B, 5C and 5D (copy for information to ITU-T FG-VM) - Intelligent Transport Systems	WP5A	議長報告に添付
[97] (Rev.1)	Liaison statement to external organisations - Intelligent Transport Systems	WP5A	議長報告に添付
[96] (Rev.1)	Work plan for revision of Recommendation ITU-R M.2121 and Report ITU-R M.2444 on intelligent transport systems	WG5A-5	議長報告に添付
[95]	[Draft] reply liaison to ITU-T Study Group 11 (copy to ITU-D SG2 Q5/2, ITU-R Working Parties 5B and 5D) - Disaster Relief Use Cases	WG5A-3 on PPDR	ITU-T SG 11 に送付
[94] (Rev.1)	[Draft] reply liaison to ITU-T Focus Group on AI for Natural Disaster Management (FG-AI4NDM) - Invitation to provide inputs to the Roadmap of AI activities for natural disaster management	WG5A-3 on PPDR	ITU-T FG に送付
[93]	Working document towards a preliminary draft revision of Report ITU-R M.2417-0 - Technical and operational characteristics of land-mobile service applications in the frequency range 275-450 GHz	WG5A-5	議長報告に添付

別紙

ITU-R SG 5 WP 5A 第 25 回会合　日本代表団

（順不同；敬称略）

	氏　名	所　　属
団長	丸橋　弘人	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
	熊原　渉	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	内田　寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	小川　博世	（国研）情報通信研究機構
	小山　敏	（一社）電波産業会
	横山　隆裕	（一社）電波産業会
	山本　勝美	（一社）日本アマチュア無線連盟
	中村　一城	（公財）鉄道総合技術研究所
	加藤　辰典	日本放送協会
	齋藤　進	日本放送協会
	岩谷　純一	日本電信電話（株）
	大槻　信也	日本電信電話（株）
	新　博行	（株）NTT ドコモ
	坂田　研太郎	ソフトバンク（株）
	吉野　仁	ソフトバンク（株）
	酒井原　邦彦	パナソニック（株）コネクティッドソリューションズ社
	川本　真紀夫	三菱電機（株）
	山崎　高日子	三菱電機（株）
	三留　隆宏	スカパーJSAT（株）